

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	令和4年度～令和8年度（5年間）																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（しまんとがわ） 四万十川森林計画区 （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 四万十森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本計画区は、北部は四万十川の源流部、南部は足摺岬<sup>あしずりみさき</sup>までの高知県西部に位置し、区域面積 297千haで森林はその85%の 253千haとなっている。年平均気温は16.2℃、平均年間降水量が 2,801mmと温暖多雨で林木の生育に適した気候下にある。</p> <p>国有林野は、森林面積の20%にあたる52千haで、これらの団地においては、人工林率は81%と高く、ヒノキが70%を占めている。</p> <p>人工林の齢級配置は、8 齢級以上の森林が81%を占めており、地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策や森林資源の循環利用の推進等の観点から、適切な間伐を行いつつ、齢級の平準化に向けた取り組みが必要な資源状況となっている。天然林は、不入山<sup>いらずやま</sup>、黒尊山<sup>くろそんやま</sup>、今ノ山<sup>いまやま</sup>、中土佐町<sup>なかとさちょう</sup>から大堂海岸<sup>おおどうかいがん</sup>に至る海岸等に分布している。</p> <p>また、本地域の特徴として、①四万十川の中流域から最上流域及び各支流の上流域に位置する団地は、古くから「幡多<sup>はた</sup>ヒノキ」等の名称で知られるヒノキの産地であり、戦後植栽された民有林の人工林も充実期を迎えつつあり、国有林材と合わせ、安定的な木材の供給が期待されている。②足摺・大堂の海岸から松田川上流<sup>さきやま</sup>の篠山<sup>あしずりうわかい</sup>に至る四国の西南端地域の団地は、国有林の大部分を保安林に指定するとともに、足摺宇和海国立公園<sup>あしずりうわかい</sup>に指定されている足摺山<sup>あしずりやま</sup>を始め、景観に優れた森林については風景林等レクリエーションの森に指定している。③その他の団地も、四万十川の保全及び流域の振興に資するため、国土保全、水源<sup>かん</sup>の涵養、自然環境の維持・形成、国民の保健・休養の場の提供等の公益的機能の発揮を目指し、森林の特徴に合わせた施業の実施に努めている。</p> <p>本事業においては、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業等の効率的な森林整備の推進や、森林整備に必要な路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用促進に資することを目的とする。</p> <table border="0"> <tr> <td>・主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>1,230 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>11,696 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>6.7 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>80.7 km</td> </tr> <tr> <td>・総事業費</td> <td>10,953,867千円</td> <td colspan="2">（税抜き 9,958,060千円）</td> </tr> </table>			・主な事業内容	森林整備	更新面積	1,230 ha			保育面積	11,696 ha		路網整備	開設延長	6.7 km			改良延長	80.7 km	・総事業費	10,953,867千円	（税抜き 9,958,060千円）	
・主な事業内容	森林整備	更新面積	1,230 ha																				
		保育面積	11,696 ha																				
	路網整備	開設延長	6.7 km																				
		改良延長	80.7 km																				
・総事業費	10,953,867千円	（税抜き 9,958,060千円）																					
費用便益分析	<p>総 便 益（B） 29,859,387千円</p> <p>総 費 用（C） 12,501,765千円</p> <p>分析結果（B/C） 2.39</p>																						
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	<p>自然景観等の公益的機能の発揮と山地災害からの防備に寄与するため、適切な森林整備が求められている地域であり、必要性、効率性、有効性などの評価の観点から妥当なものとなっている。</p>																						
評価結果	<p>・必要性： 本計画区は、北部に四万十川の源流部となる不入山天然林や南</p>																						

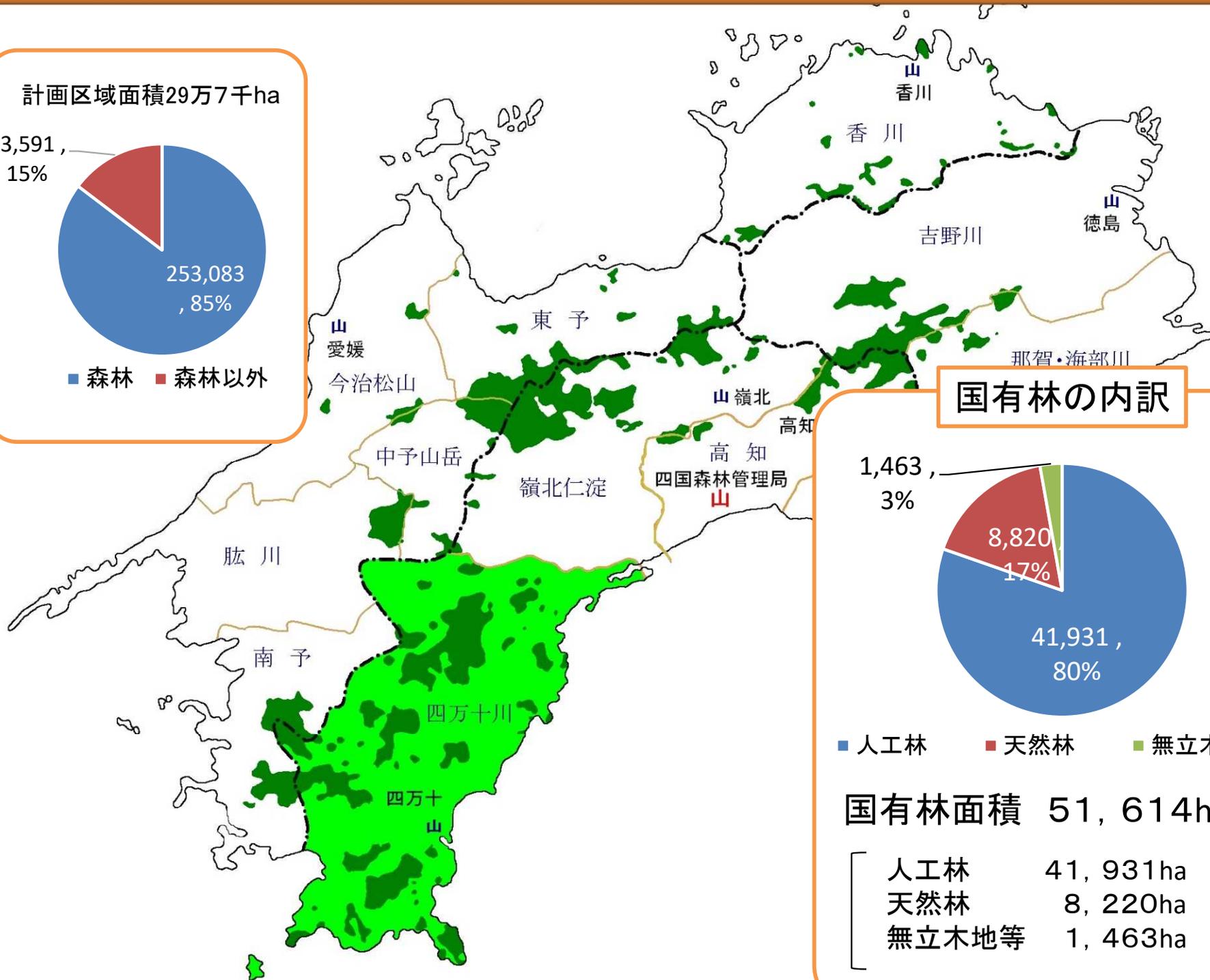
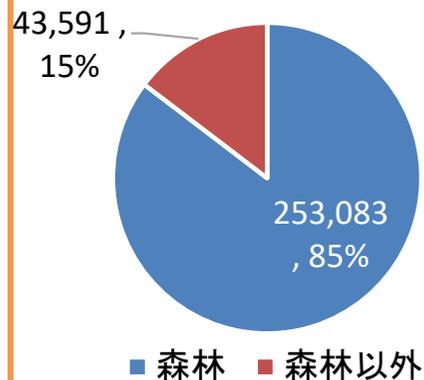
西部には黒尊山天然林など豊かな森林を有している。また、南部には足摺宇和海国立公園の特別地区など多岐にわたる自然景観、環境の優れた森林を呈しており、森林整備を通じた水源涵養及び自然休養林の保健休養等公益的機能の発揮が求められる地域である。適切な森林整備によるブランド材（幡多ヒノキ）の充実、水源地の確保、山腹崩壊等の防備に加えて、災害時における路網の迂回路としての活用についても求められており、事業の必要性が認められる。

- ・ 効率性： 森林整備では、列状間伐や高性能林業機械による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとし、また、路網整備では、現地の地形、地質状況に適した工種及び作業仕様での路網開設によって、植栽から保育までの作業効率が高まり、作業コストの縮減に努めている。これらについては、費用便益分析の結果からも、本事業の効率性が認められる。
- ・ 有効性： 計画的な保育等の実施、森林整備と連携した路網の整備を通じて森林の有する公益的機能が十分に発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれるほか、完了後の評価結果を踏まえた事業内容となっており、有効な事業であると認められる。

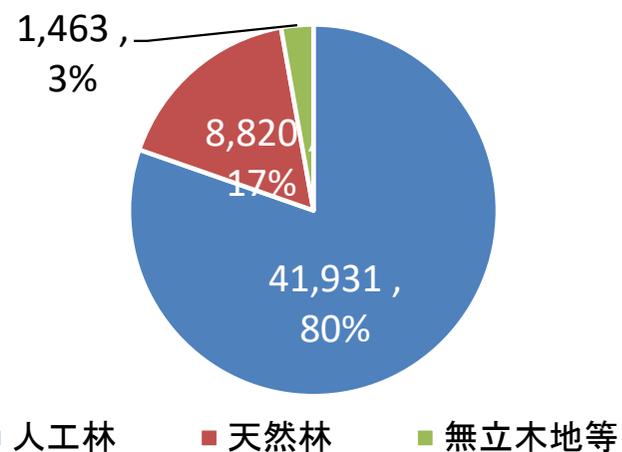
新規事業採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的に評価したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備及び路網整備が効果的・効率的に計画されているものと認められる。

# 四万十川森林計画区的位置図

計画区域面積29万7千ha



## 国有林の内訳



国有林面積 51,614ha

人工林	41,931ha
天然林	8,220ha
無立木地等	1,463ha

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：高知県

施行箇所：四万十川森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	4,950,048	
	流域貯水便益	2,016,005	
	水質浄化便益	7,090,740	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,434,131	
環境保全便益	炭素固定便益	5,496,445	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	2,909,789	
	木材利用増進便益	660,377	
	木材生産確保・増進便益	2,205,926	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	21,773	
	森林整備促進便益	1,074,153	
総 便 益 (B)		29,859,387	
総 費 用 (C)		12,501,765	
費用便益比	$B \div C = \frac{29,859,387}{12,501,765} = 2.39$		